

## 編集後記

2017年度も無事、図書館学年報の刊行に至ることができた。巻頭言は今年度、免許資格課程センター所長に着任された商学部の田口聡志先生よりお言葉をいただいた。田口先生には本号についてはもちろん、普段の図書館司書課程・司書教諭課程、またセンターに係るお仕事で大変お世話になっている。また、センターに関しては、今年度より司書課程・司書教諭課程について、出口様に替わって高橋様にお世話になっている。印刷をお願いしている木村桂文社様、協力いただいた学生諸君にもあわせて、ここで感謝を述べたい。

2017年度は司書課程に関する講演会・シンポジウムを2件、開催することができた。そのうち11月に開催した横田カーター啓子氏によるご講演の記録を本号に掲載している。ご講演いただいたのみならず、お忙しい中、お話いただいた内容を掲載用におまとめいただいた横田氏にあらためて心より感謝申し上げます。

今年度はIFLA（国際図書館連盟）の年次大会に参加し、原田先生と共同で発表した堀井さん、安田さん、横関さんと、QQML2017に参加し、佐藤と共同発表した江藤さん、小柳さん、安間さんから、それぞれの学会参加体験記を寄稿いただいた。今年度も学生・教員とも図書館情報学に関し盛んに活動している様子を感じていただければ幸いである。

同志社大学図書館情報学研究会（DUALIS）は設立から5年が経過した。本年も図書館総合展での発表等、盛んに活動されている。その活動記録を森亮子さんに執筆いただいた。かつてのDUALISメンバーであり、現在は京都府立図書館で勤務される野原隆之介さんと、関西学院大学図書館で勤務される茅野桃華さんからは、「私の仕事 この一年」のご寄稿をいただいている。また、今年は新卒・既卒あわせて多くの本学司書課程出身者が学校図書館・公立図書館の正規職員として採用されることとなった。そのうち宮津市立への就職が決まった有山尚利さん、徳島県に決まった漆川万実さん、堺市に決まった松谷侑奈さんより、「司書合格体験記」のご寄稿をいただいた。皆さんの今後のご活躍にも期待したい。

全くの私事ではあるが、2017年の夏に第一子が生まれ、昨夏は図書館見学会をはじめ、多くの行事を原田先生にご一任することとなった。多大なご負担をいただいた原田先生に心より感謝を申し上げるとともに、一夏のあいだ、自分が京都を離れることでご苦労をおかけした多くの方々にも、あらためてこの場を借りて感謝致します。

（佐藤翔）